

高齢者支える情報誌 5日創刊



介護保険・「もしも」の対応

高齢者と家族のための生活情報誌「悠悠と」が五日、創刊される。介護保険の実施を来春に控え、必要な情報が届いていないのではないかと、そんな疑問から、高齢者に役立つ情報を届けようというものだ。札幌、小樽で十萬部発刊。一部百五十円だが、創刊号は無料で配布する。

札幌・小樽で

編集長は札幌市西区の真鍋康利さん(四九)。五月に自動車車体メーカーを辞め、準備を進めてきた。

脚が悪くなった母親のために車いすが必要になったとき、見つけるのに一苦労した体験が、「保存しておけば役に立つ情報誌」づくりのきっかけになった。

賛同する友人・知人の参加、出資があり、夏には株式会社「エヴァナム」を設立。道が新事業を支援する「起業化促進推奨事業」の補助金も受けた。

一年間は季刊、二年目から隔月刊にする計画。創刊「冬号」は四十四頁。「暮らしと情報を検証する」座談会や「介護保険のツボと効能」を特集。火事や盗難など「もしも」の場合の対応を記した「悠悠便利帳」、ヘルパーが食事介助など介護のポイントをアドバイスするコーナーもある。

もう一つの特徴は読者参加。意見、要望や知りたいこと、場所など何でも知らせてもらい、誌上に反映していく。創刊号は老人クラブの協力で、各会長宅に置いてもらい、老人センターや区の連絡所などに置くことになった。

編集部は札幌市中央区北一西二一、プライムコート北一条三階、エヴァナム内。電話011・6632・6220。